



報道関係各位

2011年9月26日

TIS 株式会社

**T I S、事業継続計画（BCP）の策定・見直しのスピードをアップする  
「BCP 簡易アセスメントサービス」の無償提供を開始  
～事業全体と IT の側面から事業継続リスクと強化ポイントの見える化を実現～**

ITホールディングスグループのTIS株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:桑野 徹、以下TIS)は、本日より企業の事業継続計画(Business Continuity Plan 以下BCP)の策定・見直しのスピードをアップするための「BCP 簡易アセスメントサービス」を提供開始することを発表します。

本サービスは、TISが提供している企業のBCP策定とITによる対策の設計・実装までをサポートする一連のBCP関連サービスの一部として、無償にて提供するものです。

「BCP 簡易アセスメントサービス」は、2008年より多くの企業に対してBCP構築支援サービスを提供してきたTISのノウハウを集約したサービスです。診断では、約50項目の質問項目を設定、回答内容から事業継続に対するリスクを洗い出し、最短で5営業日以内に対策とともにレポートします。

本サービスを活用することで、企業は目に見えにくい事業継続のリスクを迅速に把握できるとともに、対策の優先順位やスケジュール、コストの概要を整理し、具体的なBCP策定・見直しに着手することが可能となります。また、アセスメント結果のレポートはすべて無償で提供されるため、利用企業は、BCP策定・見直しの具体的な検討を短期間かつ負担なく始めることができます。

◆背景

東日本大震災以後にニーズが高まっているBCPの策定を検討する際に、企業では以下のような課題やニーズがあります。

- ・災害を含む様々な事業継続リスクとそれらが事業に及ぼすインパクトまで把握できていない
- ・サプライチェーンの維持など機会損失を低減するための対策にまで踏み込めていない
- ・電力不足や自社マシンルームでの運用の不安などから、自社の情報システムに対する最低限のリスク対策の検討を優先したい
- ・震災後半年を過ぎ、ITの側面のみならず、根本的な事業継続のリスクを把握した上で、全体の対策の一部としてIT-BCPの見直しを検討したい

しかし、実際にBCPの策定・見直しをする際には以下のような担当者の声をTISではよく耳にしています。

- ・「自社のBCP対策が十分なのか判断がつかない」
- ・「具体的にどのような対策をたてたらよいかわからない」
- ・「早急に見直すようトップからの指示はあるが、すべてのリスクを自社で洗い出し、対応方法を検討するには大変な時間と手間がかかる」

そこで、TISは、このような企業の状況や課題を受け、BCP策定・見直しの具体的な検討を短期間かつ負担なく始めることができる「BCP 簡易アセスメントサービス」の提供を開始することとしました。

◆ 「BCP 簡易アセスメントサービス」の概要

「BCP 簡易アセスメントサービス」は、BCP と IT-BCP の関連を踏まえ、以下の 2 つのサービスから構成されています。

- ・ 「**全社 BCP 簡易アセスメント**」
  - 防災対策に関する方針・計画の策定から経営者による定期的な点検、社員教育など、IT に限らず事業全体の継続性を確保する上での課題と対策についてレポートします。
- ・ 「**IT-BCP 簡易アセスメント**」
  - BCP の中でも IT に特化した診断を行うサービスで、個々のシステムのバックアップ対策や情報機器の設備点検、防災対策など、企業の事業継続計画の中核を担う IT 面でのリスクと対策についてレポートします。

これらの 2 つのアセスメントにより、企業の事業そのものの継続と、それを支える IT システムの両方においてリスクを洗い出すことができます。

「BCP 簡易アセスメントサービス」は、以下のようなステップで行います。

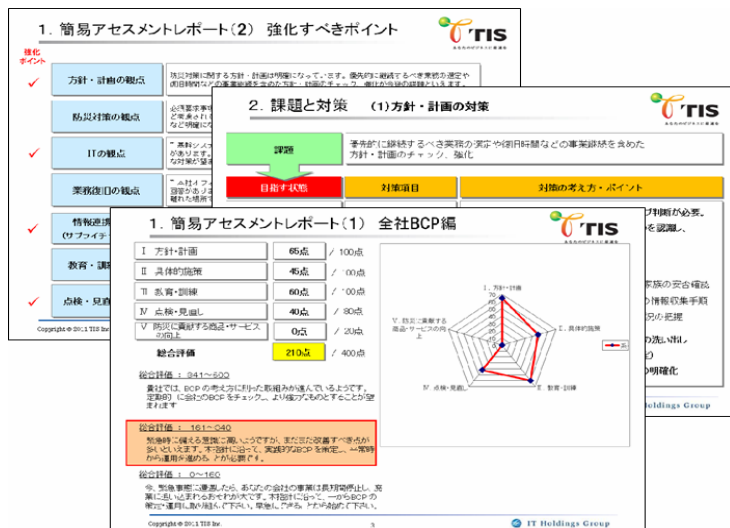
1) 簡易アセスメント

- ・ アセスメント(診断)は、BCP の「方針・計画」「具体的な施策」「教育・訓練」「点検・見直し」などのカテゴリーに分かれた問診票を使って実施
- ・ 問診票は、内閣府などから公開されている各種ガイドラインに TIS のノウハウを加えて作成したもので、問診結果の分析手法は、これまでのコンサルティング実績や情報システムの構築・運用ノウハウをもとに、TIS が独自に開発したもの

2) アセスメント結果のレポート

- ・ 設問への回答内容をもとに、各カテゴリーの評点を 100 点満点でスコアリングし、カテゴリーごとの対応状況を明確にする
- ・ 総合評点を算出し、企業としての BCP 対策の充足度を 3 段階で評価
- ・ 設問への回答内容と評点をもとに、強化すべきポイントを明示
- ・ それぞれの強化すべきポイントに対し、現状の課題と対策項目をまとめ、「①今すぐ対応可能なこと」と「②本格的な対応が必要なこと」に分けて具体的な対策案を提示
- ・ ①②の実施スケジュールと概算コストを提示

図 1: 簡易アセスメントサービス レポート例



◆ 「BCP 簡易アセスメントサービス」実施後の対応について

TIS では「BCP 簡易アセスメントサービス」によって明らかになった、事業継続のリスクと強化ポイント・対策案を実行するための各種のサービスをワンストップで提供します。

TIS の提供する関連サービスは、以下の通りです。

<主な BCP 関連サービス・ソリューション>

- ・ BCP 策定支援サービス
  - お客様サイトでの「BCP プライベートセミナー」(無料)、モデル企業の例を使い BCP 策定プロセスを半日で習得する「BCP 策定体験ワークショップ」、BIA(事業インパクト分析)・RA(リスクアセスメント)・事業継続戦略立案などの「事業継続計画策定コンサルティングサービス」を提供します。
- ・ IT-BCP 策定支援サービス
  - 全社 BCP と連動した IT-BCP を構築する「IT-BCP 策定コンサルティングサービス」、IT-BCP 構築のノウハウを半日で習得する「IT-BCP 策定体験ワークショップ」を提供します。
- ・ リモートアクセスサービス
  - 社外からの安全なアクセス環境(リモートアクセス)は、円滑な業務実施・継続を可能とするなど、BCPの観点から大きな関心が寄せられています。TIS は、デスクトップ環境の仮想化をはじめ、利用規模や形態に合わせたセキュアなリモートアクセス環境の構築・運用サービスを提供します。
- ・ データセンターサービス
  - 2011年4月に開業した最新鋭の都市型データセンター「GDC 御殿山」をはじめ、中国1か所を含む9つのデータセンターを保有する国内最大級のデータセンターサービス提供。堅朗なファシリティと創業以来のシステム運用サービスで企業の情報システムを守ります。

図2: BCP 対応シーン別 提供ソリューション領域

対策シーン	求められる対応	対応方針	
		文書化	ITによる対応
A 重要業務の選定と目標時間の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受ける被害の想定</li> <li>・重要業務の選定</li> <li>・目標時間の把握</li> <li>・自社で確保している資源の認識</li> </ul>	耐震リスク診断・構造計算書レビュー・構造耐力評価	文書管理
B 災害時の対応体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社員及び家族の安否確認方法</li> <li>・災害対応体制</li> <li>・災害対策本部長の代理者及び代理順位</li> </ul>	事業継続マネジメントシステム(Business Continuity)	安否確認 テレビ会議
C 対応拠点の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応拠点、代替連絡拠点の確保</li> <li>・対応の発動基準</li> </ul>	ITサービス継続計画(IT-BCP)	仮想化・DR データセンター データセンター クラウド対応アプリケーション
D 情報発信・情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発災直後に連絡を取ることが必要なステイクホルダーとの相互の連絡先の認識</li> <li>・災害時にも強い連絡手段の準備</li> <li>・他の企業との緊急時の連絡先、連絡手段の相互認識</li> </ul>	事業継続計画(BCP)	リモートアクセス・仮想デスクトップ 取引先との情報連携
E 訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練計画及び実施</li> <li>・事業継続計画の改善計画及び実施</li> </ul>	教育研修支援	緊急時広報 障害管理 e-learning

◆ 今後の目標

TIS は、今回提供を開始する「BCP 簡易アセスメントサービス」を、今後1年間で100の企業および自治体に提供することを目標とし、データセンターをはじめ BCP に関連する様々なサービス・ソリューションの提供拡販を目指します。

◆TIS 株式会社について

2011 年 4 月、IT ホールディングスグループの TIS(株)、ソラン(株)、(株)ユーフィットが合併し「新生 TIS」が発足しました。多彩なソリューションと国内トップクラスの総面積約 10 万㎡のデータセンターをフル活用し、SI 受託開発からアウトソーシングサービス、クラウドサービスまで全方位型の IT サービスをワンストップで提供してまいります。

◆IT ホールディングスグループについて

IT ホールディングスグループは、様々なお客様を IT で支援する IT エキスパート集団です。進化し続ける企業グループとして、グループ各社の個性を活かし総合力で応えます。

【本件に関する問い合わせ先】

<報道関係お問い合わせ先>

TIS 株式会社

企画本部 企画部

担当:浄土寺/畠山

TEL:03-5402-2133 FAX:03-5402-2433 e-mail:[info@tis.co.jp](mailto:info@tis.co.jp)

<サービスに関するお問い合わせ先>

TIS 株式会社

IT 基盤サービス本部 IT 基盤サービス第 1 事業部

担当:川口

TEL:03-5402-2179 FAX:03-5402-2642 e-mail:[it-infra@ml.tis.co.jp](mailto:it-infra@ml.tis.co.jp)